

質問6 古い協会資料の公開について

(該当箇所:p.54 第2号議案 平成27年度事業報告>学術部>学術委員会、他)

各種データベースの公開は本当にありがたいです。とても役立ちます。もっと古い資料も読みたいなど思うこともあります。国立国会図書館にも所蔵されていないものもありますが、協会はお持ちですよ。せめて国会図書館未所蔵のものは公開できませんか。

回答

協会の古い資料に関心をもっていただき、ありがとうございます。古い資料は、すでに乗り越えられた過去の遺物ではありません。実際に読んでいただいたことのある方にはお分かりのように、現代の私たちが考えそうなことで既に先達によって考えられ(考え抜かれ)ていることも多々あり、新しい発見をすることも少なくありません。本当に新しいことというのは、過去に学び、過去の集積を貫いたその上に初めて発現するものではないでしょうか。

さて協会は今年、設立50周年にあたり『日本作業療法士協会五十年史』を刊行する予定です。この『五十年史』は単なる記念誌ではなく有用な資料集として編纂しており、添付するDVDには協会が過去に発行した様々な重要文書や統計資料などを電磁的に(PDF形式で)収載しています。DVDには検索機能もあり、収載文書の多くは複写も可能としています。この『五十年史』(DVD版資料集付き)は書籍として刊行されるほか、後日ホームページにも登載して全文ダウンロード可能とし、会員の閲覧に供する予定です。(書籍については、目下ホームページや機関誌を通し、5月30日を期限として無料配布希望者を募っているところですので、入手ご希望の方は急ぎお申し込みください。)

しかし『五十年史』の資料にも限界があります。それは掲載できる量の限界であると同時に、記載の正確さ・詳しさに関する限界でもあります。協会はその点もよくよく自覚しておりますので、この『五十年史』についても、これを決定版と見なすというよりは、むしろこれを端緒としてさらに資料の収集・整理・精緻化を進める予定であります。次なる事業としては協会の資料室を整備し、より広範な作業療法及び協会関連資料の収集に努め、会員や一般の方に対し公開・提供を行いたいと考えております。